

(2) 「海外グローバル研修」課題研究発表コンテスト

- ①目的 「海外グローバル研修」の課題研究の成果を発表する大きな舞台を設定し、カナダにおける研修で現地の大学（ブリティッシュ・コロンビア大学）で発表する最優秀班を選定するとともに、本校生のグローバル・リーダーとしての意識を高める。
- ②日時 令和 2(2020)年 2 月 26 日（水）
12:30～16:30（午前中は発表者によるリハーサル）
- ③会場 佐野市文化会館大ホール
- ④参加者 合計約 400 名
- ・海外グローバル研修参加者（高 1、45 名）、附属中 3 年生および高校 1 年生全員、SGH クラブマレーシア班、高校生サミット栃木県代表者、本校教職員（合計約 300 名）
 - ・県内の高校の教員、審査員、保護者、一般参加者（合計約 70 名）
- ⑤審査員
- ◎東京海洋大学 グローバル教育研究推進機構・教授 小松 俊明（審査委員長・本校のグローバル教育統括アドバイザー）
 - ・極地研究所 副所長・教授 伊村 智（SGH 運営指導委員）
 - ・あしぎん総合研究所 代表取締役 加藤 潔（SGH 運営指導委員）
 - ・帝京大学 法学部法律学科准教授 若山 昇（本校の CTP[クリティカル・シンキング・プログラム]に関するアドバイザー）
 - ・足利大学 教育連携センター副センター長 渡辺 勉
 - ・佐野市 総合政策部 広報・地域連携課長 鈴木 誠蔵
 - ・佐野商工会議所 事務局長 藤井 謙一
 - ・佐野青年会議所 理事長 須佐 恭一
 - ・佐野市国際交流協会 事務局長 小林 康夫
 - ・（株）アイエスエイ 国内研修部 国際教育アドバイザー 山本 美里菜
 - ・栃木県教育委員会 高校教育課 指導主事 相馬 学

⑥日程 発表 I 附属中 3 年による「シンカゼミ」代表班の発表（日本語発表のみ）

- | |
|--|
| <p>a 環境・郷土分野： 河口の汚れから生き物を守るためには</p> <p>b 伝統文化・国際理解分野： 足利から「ASHIKAGA」へ ～国際交流地区を目指して～</p> <p>c 職業・産業・福祉分野： 動物保護 ～犬・猫の殺処分 0（ゼロ）へ～</p> |
|--|

発表 II 高校 1 年：課題研究発表コンテスト（英語 5 分+質疑応答）

- ・海外グローバル研修参加者が 1 年生全員で今年度取り組んだ課題研究の中から、カナダで発表する研究内容を選び、本校生を代表して発表（紹介）する。
- ・本コンテストで優勝した班は研修先（カナダ）のブリティッシュ・コロンビア大学で発表する。

- a Who will Save the Earth?
「誰が地球を救う？」
- b Bridging the Gap between Elementary and Middle School English Education
「小・中学校の英語教育の橋渡し」
- c Multilingual Restaurant Menu
「レストランメニューの多言語化」
- d We Love Sano –Revitalization of Sano
「We Love Sano ～佐野市の活性化～」
- e City Revitalization through Nature Experience Tourism
–By Making Better Use of a Camping Site
「キャンプ場を活用した自然体験観光による地域活性化」
- f The New Specialty Sano-Kuro-Karaage
「ガリッとジューシー！新名物佐野黒からあげ！！」
- g Age of Rice Flour
「来たれ！米粉時代」
- H Haunted Houses or Vacant Houses
「お化け屋敷か空き家か」
- I Exotic Fish Fertilizer Gyofun Project!!
「外来魚魚粉肥料化計画！！」

発表Ⅲ 特別発表 高校生サミット栃木県代表および SGH クラブ海外班
(英語 10 分+質疑応答)

- a High School Students Summit on “World Tsunami Awareness Day” 2019 in Hokkaido (高校生サミット栃木県代表)
- b マレーシアフィールドワーク報告 (SGHクラブ海外班)

⑦審査方法 発表Ⅱ (コンテスト) は、審査員がルーブリックによって各班の発表を得点化し、それをもとに順位を決定した。

⑧審査結果の発表・表彰

- 1 位 Exotic Fish Fertilizer Gyofun Project!! (Group 1)
- 2位 City Revitalization through Nature Experience Tourism
–By Making Better Use of a Camping Site (Group 6)
- 3 位 We Love Sano –Revitalization of Sano (Group 2)

- 個人賞 Best Presenter 1 名 (Shuhin Goto)
Excellent Presenter 5 名 (Gota Okabe, Anju Kobayashi, Kento Murai, Miyu Funatogawa, Risako Ymazaki)

⑨講評 (審査員長より)

- ・発表におけるジェスチャーや話し方、笑顔が素晴らしかった。今後も英語を学び続けて、将来グローバル社会で活躍してほしい。
- ・大きなテーマ設定をすると、いかにテーマを狭めてまとめていくかが難しく、小さなテーマ設定だと、様々な角度から考えを深め、創造的

なアイデアを出していくことが必要である。それぞれ難しさがあるが、魅力的な発表で聴衆に関心を持ってもらうことが重要である。

- ・良い質問が出るということは、聴衆を引きつけたということが言える。質疑応答に備えてしっかり準備をし、考えを深めることが大切である。
- ・今後プレゼンテーションをさらに改善し、質問の準備を進めていくことで、より満足のいくプレゼンテーションになるだろう。

